

## 「3月は自殺対策強化月間です」

以下の取り組みを行いますのでぜひご参加ください。



- **こころの健康づくり研修会**  
自身のこころのいたわり方のお話と、心いやす参加型のミニコンサートです。クイズコーナーには参加賞もあります。  
▶ **講師** / 秋田赤十字病院 公認心理師 高橋志穂子 氏
- ▶ **ミニコンサート** / ヴィヴァーチェ音楽教室 高橋弥生 氏
- ▶ **日時** / 3月15日(金) 13:15～15:30 (受付12:30～13:10)
- ▶ **場所** / 西木温泉ふれあいプラザクリオン 2階  
※ 3月11日(月)までにお申し込みください。

● 3月13日(水) 16:00～16:30、ワンダーモール角館店と、よねや角館店で自殺予防の街頭キャンペーンを行います。グッズ・パンフレットをお配りしますので、ぜひお立ち寄りください。

こころの相談以外の相談窓口(ふきのとうホットライン)はこちらから →

申込・問合せ/仙北市保健課 ☎43-2252

## 新型コロナワクチンの特例接種(無料)期間の終了について

新型コロナワクチンの接種について、令和5年11月22日時点の国からの事務連絡を基にお知らせします。  
新型コロナワクチンの特例接種(無料)期間は令和6年3月31日で終了します。今後の接種については、国からの通知があり次第、お知らせします。

問合せ/仙北市保健課新型コロナウイルス対策係 ☎43-3305

【社会教育委員】(五十音順 敬称略)

委員長	佐藤正美(再)
委員長職務代理者	佐藤秋夫(再)
委員	伊藤弘昭(新)
委員	井上善成(新)
委員	門脇トキヨ(再)
委員	草薨喜世子(再)
委員	佐川俊也(再)
委員	佐藤彰久(新)
委員	菅原宗弘(再)
委員	鈴木勝一(再)
委員	田村雄幸(再)
委員	西宮藤浩(新)
委員	畠山英恵(新)
委員	藤村榮一(再)
委員	米澤孝子(再)

任期は令和6年2月20日から令和8年2月19日までとなっています。

この度、新しく5人を社会教育委員に迎え、15人に委嘱されました。社会教育委員からは、教育委員会の諮問に応じ、社会教育に関する諸計画の立案や評価、社会教育に関する様々な助言をいただいています。



2年間社会教育委員として頑張ります。

社会教育委員に委嘱状が交付されました  
社会教育行政に反映させていきます！

あなたの相談を親身に受け止めます！

公認心理師・臨床心理士

### こころの相談

問合せ/仙北市保健課 ☎43-2252

- 角館庁舎 ▶ 3月4日(水)・13日(火)・18日(日) (午前のみ)・25日(土) (午前のみ)
- 田沢湖健康増進センター(田沢湖病院併設) ▶ 3月27日(日) (午後のみ)
- 西木総合開発センター(中央公民館) ▶ 3月12日(日) (午前のみ)

相談時間 午前/①10:00～②11:00～ 午後/③13:30～④14:30～

相談方法 相談方法: 1回50分 面談または電話(要予約・相談無料 ※秘密厳守)/ 連絡先: 保健課

病気や健康、家族問題、からだやこころの悩み、人間関係、仕事や生活の不安、子育て、近隣関係など、ひとりで悩まないで声を出してみませんか。話せるところから、ゆっくり話してみませんか。

だれかに話をするとうれしくなる

### 傾聴ボランティア えくぼの会



開催日: 3月13日(日) 時間 10:00～14:00

場所 角館交流センター (※参加無料)

心にたまったことや、気になること、心配なことなどを話してみませんか。傾聴ボランティア「えくぼの会」では、ゆっくりお茶を飲みながら、会員が悩みなどをお伺いして、一緒に考えていきます。開催時間内の都合のよいときにお気軽にお越しください。

語って、笑って、ホッと一息

### えがおサロン



開催日: 3月6日(日) (参加費100円/予約不要)

場所 田沢湖健康増進センター(田沢湖病院併設) 交流プラザ  
内容 血圧測定、健康講話(保健師)、脳トレ、手芸など

「えくぼの会」では、毎月サロンを開催し個人の悩みや相談に応じています。お茶やコーヒーを飲んだり、語って笑ってホッとできるスペースです。予約なしで、どなたでも好きな時間に参加できます。ぜひ、お立ち寄りください。

傾聴ボランティア・集いの場 **かだれ!** 楽しく一緒にすごしてみませんか♪

開催日: 3月13日(日)・27日(日) 時間 10:00～15:00

場所 田沢湖健康増進センター(田沢湖病院併設) 調理室・栄養相談室 参加費 100円(昼食は各自でご持参ください)

内容 ▶ 保健師による血圧測定、健康相談、認知症予防体操、ゲームなど

相談 ▶ 心理カウンセラー(相談無料/秘密厳守) 連絡先: 小松まで ☎090-2975-3450

一緒にお茶を飲んだり、認知症予防ゲームを楽しんだり、やりたいことをやりましょう!開催時間内に個別にお話(相談)をお聴きします。

今、私たちが取り組んでいるのは、集まった人たちでお互いの「安否確認や困ったときに、駆け付けられる体制づくり」を進めています。「かだれ!」は、皆さんのお越しをこころからお待ちしています!

笑いの会 笑いヨガで、心も・体も・脳も健康に!

開催日: 3月15日(日) ※事前申込不要 受付 9:40～10:00 ～11:30終了

場所 健康管理センター(角館) ※参加無料

笑うことは心身ともに安定し、ストレス軽減に効果があると言われています。皆さまぜひご参加ください。

問合せ/仙北市保健課 ☎43-2252



若者同士で交流しましょう! **若者の居場所** ※こころの重荷を下ろす場所♪

開催日: 3月19日(日) 場所 角館交流センター(和室) ※無料/予約不要 時間 14:00～16:00

辛い、苦しい、不安、眠れない、家にいても居心地が悪い、社会の中で生きづらいつ感じているすべての若者が対象です。一緒にお茶を飲んだりおやつを食べたり、ちょっとしたゲームをしながら若者同士で交流しましょう。ぜひ、ひとりで抱え込まずに、まずは足を運んで下さい。お待ちしております。

問合せ/NPO法人KOU 大屋みはる ☎018-853-4367  
主催 NPO法人KOU(あきた若者サポートステーション運営団体)

# 高齢者叙勲

このほど、高齢者叙勲受章者が発表され、元仙北市議会議員の武藤耕三さんが、地方自治功勞で旭日単光章を受章されました。心からお祝い申し上げます。  
(※年齢は受章時を掲載)

## 旭日単光章 (地方自治功勞)



武藤 耕三 さん  
 (88歳 西木町松木内)

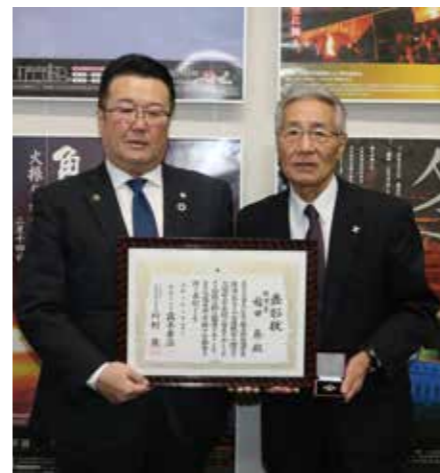
元西木村議会議員、元仙北市議会議員。昭和48年9月に西木村議会議員に初当選し、合併後の平成18年4月までの長きにわたり務められました。この間、議会運営委員会委員長や教育民生常任委員会委員長などを歴任され、地方自治発展のために尽力されました。

## 第64回交通安全国民運動中央大会

### 稲田修さん

#### 緑十字銀賞を受賞

1月17日、東京都の文京シビックホールで、一般財団法人全日本交通安全協会と警察庁が主催する「第64回交通安全国民運動中央大会」の表彰式が行われ、稲田修さん(田沢湖生保内)が交通安全功勞者として、交通安全賞章緑十字銀賞を受賞されました。  
 この栄誉賞は、多年にわたり交通安全活動に尽力された個人や団体に与えられるもので、秋田県交通安全協会の推薦を受けて受賞となりました。2月1日には市役所田沢湖庁舎を訪れ、田口市長へ受賞を報告しました。  
 稲田さんは、これまで仙北地区交通安全協会の会長、秋田県交通安全協会の監事や理事などの役職に就任されているほか、率先して交通安全運動に取り組みなど、これまでの功績が評価されました。



## 各分野で発展に貢献 仙北市 技能功勞者表彰

このほど、卓越した技能を有する仙北市技能功勞者の選考会が開催され、1月19日に2人の方々に表彰が行われました。  
 この表彰は、技能者の社会的・経済的地位および技術水準の向上を図るとともに、本市における産業の発展に資することを目的としています。  
 受賞者は、各業界団体などから個人を推薦し、大曲仙北職業訓練協会や仙北市商工会、秋田県仙北建設業協会などで構成する選考委員会を経て決定しました。受賞者は次のとおりです。

### 分野：左官技術

千葉直喜さん(75歳 角館町小勝田)



昭和36年に「大久保タイル」に師事し、在来工法の技術を習得後に独立。昭和46年に千葉左官工業を設立し、代表者として現在に至ります。左官技術職仕上りの妥協を許さず丁寧で、その確かな技能の優秀性は、業界からも高く評価されています。また、これまで2人の弟子を育てあげ、左官職人が減少するなか、地域の発展および若年者の発掘・育成・指導に尽力されています。  
 そのほか、秋田建築労働組合角館支部の役員を長年にわたって務められ、組合の組織拡大、また業界の発展に大きく貢献されています。

### 分野：建設施工管理技術

中村和好さん(65歳 西木町松木内)



昭和51年に(株)神巧業に入社以来、47年間にわたり主業務の水門工事に特化し、工場製作から現場施工の経験を経て、様々な工事を管理監督し、業界の発展に大きく貢献されてきました。特に、国土交通省などの大型物件などを担当し、工事評価点に関しては高得点を多数獲得するなど、その確かな技能の優秀性は業界からも高く評価されています。  
 また、現在在籍している工事部社員をはじめ、他部署へ異動した社員へも優良工事表彰を多数受賞できるほどに育成し、後進の技術指導にも意欲的に取り組まれています。

## アルペン競技と クロスカントリー競技で熱戦

### 第54回大曲仙北小中学校スキー大会

1月27日と28日の2日間、第54回大曲仙北小中学校スキー大会が開催されました。

アルペン競技は、たざわ湖スキー場の国体コースで、クロスカントリー競技は、田沢湖スポーツセンターのクロスカントリーコースで熱戦が繰り広げられました。

当日の成績は次のとおりです。  
 ※市内3位まで掲載、敬称略

- アルペン競技(大回転)** ▶ 小学女子1・2年 / ①佐藤綾音(西明寺) ▶ 小学男子1・2年 / ②宮崎快仁(角館) ③高津瑠楓(生保内) ▶ 小学男子3年 / ②原颯介(西明寺) ③吉田統吾(生保内) ▶ 小学女子4年 / ②高橋結希愛(神代) ▶ 小学男子4年 / ①吉田悠人(生保内) ▶ 小学女子5年 / ①桜田心菜(角館) ▶ 小学男子5年 / ①吉田結星(神代) ▶ 小学女子6年 / ①畠山芽依(西明寺) ▶ 小学男子6年 / ①水平讓翔(角館) ③門脇祥真(西明寺) ▶ 中学女子 / ③門脇恋珀(西明寺) ▶ 中学男子 / ③横山蓮(生保内)
- クロスカントリー競技** ▶ 小学女子1・2年(1.5km クラシカル) / ①佐藤菜桜(神代) ②佐藤雪菜(同) ▶ 小学男子1・2年(1.5km クラシカル) / ①荒澤桃之助(同) ▶ 小学女子3年(2km クラシカル) / ②八柳紗奈(同) ▶ 小学男子3年(2km クラシカル) / ①伊藤咲陽(同) ▶ 小学女子4年(3km クラシカル) / ①清水琴美(同) ▶ 小学男子4年(3km クラシカル) / ①佐藤義翔(同) ②佐々木秋獅(同) ▶ 小学男子6年(4km クラシカル) / ①八柳璃空(同) ②清水瑛太(同) ▶ 小学下学年クラシカルリレー(1.5km×3) / ①神代A(八柳紗奈・佐藤菜桜・伊藤咲陽) ②神代B(荒澤桃之助・佐藤雪奈・藤村里咲) ▶ 小学男子クラシカルリレー(3km×3) / ①神代(八柳璃空・佐藤義翔・清水瑛太)

## 第19回仙北市民スキー大会

2月12日、「第19回仙北市民スキー大会」が、たざわ湖スキー場国体コースで開催されました。当日は、小学1年から一般男子Cの17種目に53人が参加し、大会を通じて交流しました。当日の成績は右記のとおりです。(○数字は順位、( )は所属、敬称略)



- アルペン** ▶ 小学1年男子 / ①照井琥凱(田沢湖 Jr スキー) ▶ 同女子 / ①佐藤綾音(同) ②佐藤愛花(同) ③佐々木柚(同) ▶ 小学2年男子 / ①高津瑠楓(同) ②宮崎快仁(スマイル Jr) ③佐藤彩叶(同) ▶ 同女子 / ①西宮志菜(田沢湖 Jr スキー) ②畠山絢依(スマイル Jr) ③赤坂空詩(田沢湖 Jr スキー) ▶ 小学3年男子 / ①佐藤尊琉(同) ②原颯介(同) ③吉田統吾(同) ▶ 小学4年男子 / ①吉田悠人(同) ②宮崎暖心(スマイル Jr) ▶ 同女子 / ①照井心詞(田沢湖 Jr スキー) ②高橋結希愛(同) ▶ 小学5年男子 / ①吉田結星(同) ▶ 同女子 / ①桜田心菜(同) ②佐々木麻(同) ▶ 小学6年男子 / ①水平讓翔(角館小学校) ②門脇祥真(田沢湖 Jr スキー) ③高橋蒼哉(同) ▶ 同女子 / ①畠山芽依(スマイル Jr) ②佐藤史織(田沢湖 Jr スキー) ③照井心夢羽(同) ▶ 中学男子 / ①横山蓮(同) ②笹沼竜馬(角館中学校) ▶ 同女子 / ①門脇恋珀(田沢湖 Jr スキー) ②高橋芽唯(同) ③伊藤愛莉(同) ▶ 一般女子 / ①草薮梨恵(同) ②高野敦子(同) ▶ 一般男子A / ①加藤慎弥(一般) ②伊藤太翔(田沢湖 Jr スキー) ▶ 一般男子B / ①照井裕也(田沢湖 Jr スキー) ②佐藤明広(同) ③原正樹(同) ▶ 一般男子C / ①伊藤雅人(同) ②齋藤博米(同) ③佐藤亘(同)

## 読売カップキッズサッカー大会U-10 秋田県大会 FC角館セレジエスタ Jr 準優勝で東北大会

1月5日と6日の2日間、秋田スカイドームで読売カップキッズサッカー大会U-10 秋田県大会が開催され、この大会に出場したFC角館セレジエスタ Jr が準優勝の成績を収めました。

2月13日、市役所角館庁舎を訪れた選手と指導者から田口市長へ大会の結果と、3月に福島県檜葉町で開催される東北大会への出場が決まったことが報告されました。

この大会は、4年生以下で構成するチームで出場し、決勝トーナメントを順調に勝ち進み、決勝ではブラウブリッツ秋田に2対3で惜しくも敗れ準優勝となりました。



報告に訪れた指導者と選手の皆さん。東北大会での活躍が期待されます。

## 市内の小中学生が世界・全国で活躍

1月16日、マーチングや野球、バスケットボールで活躍した市内の小中学生が市役所西木庁舎を訪れ、須田教育長へ報告しました。

### 角館小学校金管バンド部ドリームハーモニー

12月9日、さいたまスーパーアリーナで行われた「第51回マーチングバンド全国大会」に出場し、銀賞に輝きました。

### 柴田優星さん（生保内中学校・2年）

秋田北リトルシニアに所属する柴田優星さんが、リトルシニア東北選抜に選ばれ、12月27日から31日まで、台湾で開催された第19回日台会長杯国際野球大会に出場。捕手としてチームの勝利に貢献し7勝2敗1分の成績を残しました。



角館小学校金管バンド部ドリームハーモニー（前列、柴田優星さん（後列左）、阿部勇咲さん（後列右）。

### 阿部勇咲さん（角館中学校・3年）

バスケットボールのクラブチーム「NOSHIO BASKETBALL ACADEMY」に所属する阿部勇咲さんが、1月4日から東京都で開催された「京王 Jr. ウインターカップ 2023-24 第4回全国U15バスケットボール選手権大会」に出場。準々決勝で、優勝した三重県のチームに惜しくも敗戦したものの3回戦までのチームの勝利に貢献しました。

## 角館小・白岩小 統合準備委員会から報告書

1月18日、昨年7月から両校の統合に向けて行われてきた協議が終了し、1月29日には、桃園豊弘委員長と青柳徹副委員長から、須田教育長に協議結果の報告書が提出されました。

教育委員会ではこの報告を踏まえ、今後統合に必要な手続きや準備作業を進めていくことにしています。



左から青柳副委員長、桃園委員長、須田教育長。

【主な協議結果】▶ 統合時期／令和7年4月1日 ▶ 校名／角館小学校 ▶ 校舎・校歌・校章／現角館小学校のものを継承 ▶ 白岩地区児童の通学／スクールバスを運行

【学校適正配置に関する問合せ】

仙北市教育委員会 学校適正配置準備室 ☎ 43-3381

## 学校適正配置検討委員会開催

1月25日、検討委員会が開催され、目指す具体的な学校規模とその実現方法の方向性を示す「学校適正配置計画（骨子案）」の検討が行われました。

今後、計画の具体的な実施内容を検討していくため、昨年12月に行った「保護者が考える学校再編案」アンケートを踏まえ、複数の再編試案について検討が行われました。

【主な検討内容・意見】▶ 保護者アンケートによる学校再編の考えを踏まえ、今後は市が試案を示して進めていけばいい ▶ 小さな統合を繰り返すのではなく、長期的な視点で大きな統合を目指した方がいい ▶ 通学の負担を考え、距離的に近い学校同士の統合が現実的である ▶ 人数合わせの学校統合ではなく、魅力や特色のある学校づくりの視点が大事である

学校適正配置に関する取り組み状況は、仙北市のホームページ特設コーナー内でご覧いただけます。



幼少の頃から地元で伝わる「田植え踊り」を祖母から教わり、昭和48年頃に「中島弘子社中」を立ち上げた。以来、子どもたちに手踊りを指導し、地域の伝統芸能の継承に尽力されている。貴重な文化財の継承は、地域を愛する心と奉仕にあり、その実績は称賛に値し、芸能フェスティバルや生保内節全国大会にも貢献している。



芸術文化章  
民俗芸能  
中島弘子氏  
(79歳・田沢湖生保内)

高校演劇部顧問として創作劇を提供し、県大会や東北大会に出場したほか、演劇サークル「どんちゅよ」の座付戯作者として、若手や大分で開催された国民文化祭に出演。平成3年全国青年大会では「お山獅子殺人事件」が最優秀賞を受賞するなど、演劇分野で活躍された一方、多数の単行本を出版されている。



芸術文化章  
演劇・学術  
遠藤康氏  
(82歳・角館町小人町)

2月4日、仙北市芸術文化協会（平岡三郎会長）が主催する「第18回仙北市芸術文化章・栄光賞授章（賞）式」が、温泉ゆぽぽ「紫苑の間」で開催され、次の方々に贈られました。

令和5年第65回秋田県美術展覧会（県展）の日本画部門において特賞に輝き、県展で特賞の受賞は今回で2回目となる。



芸術文化栄光賞  
絵画  
細川雪子氏  
(80歳・田沢湖神代)

小学校5年生のとき、津島弘子氏より手踊りを伝授され、昭和58年に飾山囃子の手踊り教室「藤美会」を結成。40年間で300人以上の弟子を輩出したほか、平成15年から20年間、角館高校「飾山囃子部」を指導。令和5年郷土民謡協会全国大会民舞グランプリ（準優勝）を収めている。



芸術文化章  
民俗芸能  
藤原ミサ子氏  
(70歳・角館町雲然田中)

令和2年から4年まで仙北市芸術文化協会会長として、芸術文化の振興に寄与している。「西木村の文学碑」など村関係書のほか、西木出身の画家長山孔寅についての「仙北市文化財大黒恵比須の画家長山孔寅」などを執筆。また、書道活動においても多数の表彰歴を持つ。



芸術文化章  
地域・学術  
加藤義規氏  
(74歳・西木町上荒井)



アルトサックスを手に田口市長へ報告する高橋さん（右）。

12月16日、秋田県音楽普及協会おんぷの会が主催するアマチュア音楽家たちの祭典「チャレンジコンサート」2023が、秋田アトリオンの音楽ホールで開催されました。

このコンサートに、高橋正昭さん（田沢湖生保内）のアルトサックスと、佐藤澄枝さん（田沢湖生保内）のピアノによるデュオで、昨年に続き出場し、ウェンヤンラフンディの演奏を披露。審査の結果、最高賞となるチャレンジ大賞に輝きました。

2月7日には、市役所田沢湖庁舎を訪れ、田口市長へ大賞受賞を報告しました。高橋さんは今回の大賞は昨年に続き2年連続の受賞で、「1回目のときは、まぐれだと思った。今回の2回目の受賞は自信につながり、幸福度は自ら上げることができると感じた。働きながらの練習は大変だが生の演奏が、聴く人にとっても幸福度につながるよう今後は少しずつ活動を広げたい」と話しました。

## アマチュア音楽家たちの 祭典で2年連続大賞

この「せんぼく医信電診丸」は、高齢者などの交通弱者や通院が難しい患者などに対する医療アクセスの支援を目的に、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用した取り組みです。この車両は、西明寺診療所とオンラインでつながるモニターや電子カルテシステム

2月2日、市役所西木庁舎前で医療MaaS車両「せんぼく医信電診丸」の出発式が行われました。田口市長は「仙北市の高齢化率は44・7%、急速な人口減少、県内で3番目に大きい面積を有する自治体で、直面する地域課題に向き合わないといけない。この医療MaaS車両を活用し、交通弱者の皆さんにとって優良な医療を提供できる。市民の皆さまが安心安全に暮らしていただくため、デジタル技術を活用し幸福度向上にむけて全力で取り組む」とあいさつしました。

## ヘルスケアDX(デジタルトランスフォーメーション)推進 医療MaaS(マース)車両「せんぼく医信電診丸」出発式



医療MaaS車両「せんぼく医信電診丸」。

その後、出席者を代表して8人によるテープカットが行われ、「せんぼく医信電診丸」の出発を祝いました。この「せんぼく医信電診丸」は、高齢者などの交通弱者や通院が難しい患者などに対する医療アクセスの支援を目的に、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用した取り組みです。この車両は、西明寺診療所とオンラインでつながるモニターや電子カルテシステム

端末、電子聴診器、血圧測定器、心電図、超音波診断装置などの医療機器を搭載しており、遠隔による診察が可能となります。具体的には、看護師を乗せた「せんぼく医信電診丸」が患者宅を訪問。玄関前などに駐車し、西明寺診療所とオンラインでつながったモニター設置の車内で診察や検査を受け、モニター越しに対面する市川診療所長から結果などが伝えられます。導入することにより、効率的な医療提供体制が構築されるほか、患者さんの負担軽減が期待されます。

## (百寿) おめでとうございます

吹谷新子さん  
2月8日、吹谷新子さん(角館町上菅沢)が100歳の誕生日を迎えられ、お祝いが贈られました。



田口市長から新子さん(右)にお祝いと花束が贈られました。

## 田沢湖図書館に 児童書の贈りもの

田沢湖図書館のおはなし会「おはなし玉手箱」に、ボランティアで参加されている若手県滝沢市の柳生達雄さんから、去年に引き続き今年も児童書が寄贈されました。柳生さんからは「冬になると田沢湖の子どもたちの元気な姿が思い出されます。子どもたちのために役立ててください」というメッセージが届いています。



子どもたちが選んだ児童書が、柳生さんから寄贈されました。

## 第一生命労働組合秋田支部 角館分会より車イスを 寄付いただきました



三浦明美分会長(写真左)より田口市長へ手渡されました。

このたび、第一生命労働組合秋田支部角館分会(三浦明美分会長)より車イスを寄付いただきました。

同組合では「社会の一員として社会に役立つ活動」として、「ミニユニティーの」C・R・レーションの「R」地域社会との交流に、第一の頭文字「D」をつけたDCR活動を行い、毎年、福祉施設などに寄付をしています。このたびの寄付もDCR活動の一環で、組合員からの寄付により成り立っています。三浦分会長は「仙北市の観光に役立ててほしい」と話し、田口市長へ手渡しました。今後は、桜並木駐車場に配置して、お客さまにより快適に観光を楽しんでいただけるよう活用していきます。

## 車両デザインと生涯カルテアプリ 「健康DX手帳」のキャラクター 市内小中学生がデザイン



せんぼく医信電診丸の車両デザインを角館中学校美術部の皆さんから、生涯カルテアプリ「健康DX手帳」のアプリ内キャラクターのデザインを西明寺小学校と松木内小学校の児童の皆さんから募集しました。審査の結果、それぞれ市長賞、副市長賞、教育長賞が決まり、医療MaaS車両については、専門監修のもと受賞デザインを取り入れた車両デザインとなりました。また、アプリ内キャラクターには市長賞に選ばれた赤倉ゆき乃さん(西明寺小学校・6年)の作品をベースにしたキャラクターのデザインに決まりました。

1月30日、市役所田沢湖庁舎で表彰式が行われ、6人に表彰状が手渡されました。受賞者は次のとおりです。(敬称略)

車両デザイン 市長賞▶辻谷朝美(角館中・2年) 副市長賞▶辻達香(同) 教育長賞▶佐々木美佑希(同・1年)

「健康DX手帳」キャラクターデザイン 市長賞▶赤倉ゆき乃(西明寺小・6年) 副市長賞▶辻愛蘭(同) 教育長賞▶佐藤優侖(松木内小・3年)

## 合格祈願米を いただきました



左から杉宮さん、須田教育長、吉田社長、高階勝巳西明寺中学校長。

1月17日、合格祈願米贈呈式が北秋田市阿仁庁舎で行われ、秋田内陸地域公共交通連携協議会から須田喬教育長と西明寺中学校3年の杉宮結生希さんに目録と合格祈願米が手渡されました。

合格祈願米は、秋田内陸線田んぼアート会場で収穫されたお米で、昨年度に引き続き、受験を控えた仙北市と北秋田市の中学校3年生に贈られました。秋田内陸縦貫鉄道の吉田裕幸社長は「地域の皆さんや子どもたちが一生懸命、田植えや稲刈りをしてくれたお米を食べて、悔いのない学校生活を送ってほしい」、杉宮さんは「受験が近いので、体調を崩さないように合格祈願米を食べて体力をつけたい。受験に合格できるよう頑張りたい」と話しました。

## 能登半島地震の被災地へ

## 市内小中学生・教職員 被災地へ義援金

2月7日、市内の小中学生と教職員から能登半島地震で被災された方に役立ててもらおうと、秋田魁新報社を通じて義援金が送られました。当日は、児童・生徒を代表して佐藤亜耶希さん(神代中・2年)と佐藤桜季さん(同・1年)が、秋田魁新報社角館支局を訪れ、各学校で実施した募金活動で集まった38万3611円を義援金として大原支局長に手渡しました。この義援金は、子どもサミットで提案された募金活動に教職員も参加したもので、児童生徒の代表は「能登半島地震で被災された方々のお力になれるよう仙北市の各小中学校で募金活動を行った。被害に遭われた方々へこのお金を願います」と話しました。

このほか、市としても職員を現地へ派遣したほか、市役所幹部職員や課ごとに義援金を送るなどの取り組みをしています。



義援金を手渡す佐藤桜季さん(左)と佐藤亜耶希さん(中央)。

仙北市の優位性・強みを活かして

# インターナショナルスクール 誘致視察ツアー

仙北市では、国家戦略特区の優位性や豊富な観光資源、首都圏からのアクセスのよさなどの強みを活かしてインターナショナルスクールの誘致に取り組む、外国人子女などの定住人口や外国人の交流人口の増加、教育産業などの新たな産業の育成による雇用機会の創出、地域の魅力度向上を目指しています。



わらび座での踊りのワークショップの様子。

ターナショナルスクール誘致のための市内視察ツアーを実施し、国内やシンガポールのインターナショナルスクール関係者5人が参加。2泊3日の視察では、わらび座で踊りのワークショップを体験し、農家民宿に宿泊して地元農家との交流に加え、たざわ湖スキー場の見学やスノーアクティビティを体験しました。また、伝統工芸品などを知ってもらった目的で榊細工伝承館も見学しました。

最終日の振り返りでは、参加者から、「豊かな自然や伝統文化を活かしたアクティビティが揃っている」と好評価を頂けた一方、「地域の児童生徒の様子や教育環境も見なかった。協力できる事業パートナーが欲しい」などのご要望も頂きました。ツアー終了後にも引き続き丁寧なフォローすることで、市内へのインターナショナルスクール誘致に向けて取り組みます。

サテライトオフィス誘致促進事業

# 冬の市内視察ツアー

市内にIT企業などのサテライトオフィスが増えることによる、若者の雇用の場・創業機会などの創出を目指し、1月18日から20日にサテライトオフィス誘致のための市内視察ツアーを実施しました。



田沢湖クニマス未来館の見学の様子。

令和5年8月の視察ツアーに参加した首都圏IT企業など7社の11人が冬の市内視察ツアーに参加しました。

2泊3日の視察では、夏ツアーと同様に市内企業を訪問して地域経営者と意見交換を行い、農家民宿に宿泊して地元農家と交流したのに加え、冬ならではの雪原でのスノーシューを体験しました。また、田沢湖の歴史や文化を知ってもらった目的で田沢湖クニマス未来館も見学しました。

最終日のツアー振り返りでは、参加者から、「地元の方々の笑顔に癒やされた。田沢湖などの景色が美しく、人が温かい」と、好評価を頂けた一方、「人材採用ができるか。雪道の運転が不安」などの不安の声も頂きました。参加企業が抱く不安に丁寧に対応して、ツアー終了後も引き続きフォローすることで、市内へのサテライトオフィス誘致に向けて取り組みます。

仙北市国際交流協会主催

# 台湾制作「仙北市短編映画祭」

2月4日、田沢湖総合開発センターで仙北市国際交流協会主催「台湾制作「仙北市短編映画祭」」が開催され、近隣市町村や若手県などから132人が来場しました。



映画祭の会場の様子。

国内や台湾に向けて映像制作団体を募集したもので、たくさんの方に注目していただき、28団体の応募がありました。専門家や市役所関係者を審査委員とした一次審査で選定された2チームは、1月29日から市内に滞在し、自然景観や文化歴史などの市の魅力が詰まった動画を制作し、2月4日に完成作品の上映会を行いました。チーム「台日鍋物交流会」が最優秀賞を、チーム「Movieaku」は市長



最優秀賞に輝いた「台日鍋物交流会」の皆さん。

賞を受賞しました。なお、作品は市のホームページで公開中です。ぜひご覧ください。上映会のほか、市国際交流員の黄敏による発表会は秋田弁の話で、終始和やかな雰囲気で行われ、物販展示もたくさんのお客さまでにぎわうなど、秋田県や東北における仙北市と台湾の交流に対する認知度向上、身近な異文化交流の場として寄与するイベントとなりました。この取り組みは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業です。台湾団体撮影滞在やイベント開催は宝くじの助成金を活用し実施されました。



↑最優秀賞の作品  
↑市長賞の作品

アプリで地域課題に挑む

# デジタル人材 育成講座発表会

1月18日、デジタル人材育成講座の成果発表会が市役所角館庁舎で開催されました。高校生から社会人18人が、スマートフォンアプリの開発発表体験を通してITスキルの習得を目指し、昨年12月から全5回講座を受講しました。



最優秀賞受賞アプリ「ANABA」は、こちらから→

受講生は4チームで地域課題を解決するスマートフォンアプリを開発し、その内容を発表。各チームからは、家庭ゴミ収集カレンダーを分かりやすくしたアプリや、雪害防止のために屋根の状況を把握するドローン依頼アプリ、移動式販売利用アプリなどのアイデアで試作されたアプリの発表がありました。発表会には、サテライトオフィス誘致市内視察ツアーで市内を訪れた首都圏IT企業や市内金融機関なども観覧。IT企業からは実務に基づく質問や助言などがありました。市長などの審査員による審査と観覧者の投票の結果、地域の穴場情報を共有するアプリ「ANABA」を発表したチームが最優秀賞を受賞。最優秀賞チームのアプリを3月31日までの期間限定で公開しますので、ご興味がある方はお試しください。

誘致企業として認定

# 株式会社ジェエニオと 立地協定締結

県と市が誘致企業として認定した株式会社ジェエニオとの立地協定式が、1月22日、県庁で行われました。締結式には同社の米田卓也代表取締役社長と佐竹知事、田口市長が出席。それぞれが協定書に署名し、協定が締結されました。同社は、平成15年に兵庫県で設立され、現在は神戸市中央区に本社を置く従業員26人の会社で、ウェブシステムやウェブサイトを、スマートフォン向けアプリ開発などを手掛けています。



写真中央が米田代表取締役社長。

都市部での人材確保が難しくなり、地方進出を検討する中で、仙台市や盛岡市、首都圏へのアクセスのよさやAターン制度をはじめとする人材確保への取り組みなどが決め手となり、4月1日にJR角館駅前のシェアオフィス「ORENCH」内に拠点準備室としてサテライトオフィスを開設。7月1日から社員2人で業務を開始します。締結式で米田代表取締役社長は「これまで西日本および首都圏を中心に事業を行っており、秋田は東日本でのビジネス展開の拠点となる。仙北市と連携し、地域の人口減少抑制に貢献していきたい」と話しました。

災害時の協力に関する協定

# 東北電力ネットワーク株式会社 大曲電力センターと締結

2月9日、市役所田沢湖庁舎で東北電力ネットワーク株式会社大曲電力センターと、災害時の協力に関する協定締結式が行われました。締結式には同センターの佐々木卓所長、田口市長が出席。それぞれが協定書に署名し、協定が締結されました。



協定書を取り交わす大曲電力センターの佐々木所長（左）と田口市長。

同センターとは、平成20年に災害時の協力に関する協定を締結しており、今回の協定では事前伐採に関する項目を追加し、倒木などによる被害発生を未然に防ぐ取り組みについて相互協力していくこととなります。締結式で佐々木所長は、「自然災害の激甚化により一度災害が発生すると停電が長期化し、その原因の8割が電線への倒木による。停電を発生させないことを使命に取り組んでいるが、災害時には想定外の土砂崩れなどがあつた場合には、停電になることはあるかもしれない。可能な限り短時間で復旧に取り組むが、未然に防止できる取り組みにご協力をお願いする」と話しました。

## 第27回 おやま囃子芸能発表会

2月11日、仙北市角館交流センターにて、第27回おやま囃子芸能発表会が開催されました。今回は、計12団体が出演し、お囃子や手踊りの日ごろの練習成果を披露しました。

この行事は、国指定重要無形民俗文化財「角館祭りのやま行事」の重要な構成要素である「おやま囃子」を、日ごろ練習している若者たちに、その成果を発表する場を設け一堂に



おやま囃子に合わせての優雅な手踊りを披露。

披露することにより、レベルアップを図り、伝統の継承活動に寄与するものです。

**【出演団体名】**

- ▼愁明会▼角館おやまばやし櫻義会▼秋月会▼夢燈会▼お山ばやし扇栄会▼飾山囃子弘道流奏秋会▼神代芸能保存会▼藤原組▼千葉キヨ社中▼奏雅扇舞会▼おやまばやし清友会▼角館お山ばやし手踊り会▼照桜会（出演順）



市内では伝統の小正月行事が開催されました。寒さを吹き飛ばす熱いイベントに、多くの観客が訪れ、冬の楽しみを満喫しました。

### 2月3日(土) 白岩城址燈火祭

2月3日、「白岩城址燈火祭」が白岩地区の特設会場で行われました。白岩小学校の児童が参加し、中世白岩城址の館山参道に設置されたかがり火と近世平城跡に設置されたミカまくらに火を灯すと、光のファンタジーな世界に包まれました。



### 2月10日(土) 上桧木内の紙風船上げ



2月10日、「上桧木内の紙風船上げ」が西木町紙風船広場で行われました。五穀豊穡や無病息災、家内安全などの願いを込めた紙風船が次々と空に舞い上がると、来場者から大きい歓声が上がリ、夜空に浮かぶ幻想的な光をいつまでも見守っていました。

### 2月14日(水) 角館の火振りかまくら



2月14日、「角館の火振りかまくら」が、各所で行われました。会場では、五穀豊穡や無病息災などを願う炭俵が描く炎の輪がいくつも広がり、幻想的な光景が広がりました。地域住民や観光客などが集まり、火振りを体験する姿が見られました。

### 2月17日(土)～18日(日) 田沢湖高原雪まつり



2月17日、18日の2日間、たざわ湖スキー場特設会場で「田沢湖高原雪まつり」が開催されました。雪像コンテストをはじめ、今回で5回目となる大好評企画「汁・椀グランプリ」や雪中宝さがし大会、市内のこども園の園児たちによる紙風船上げ、花火の打ち上げ、ミニ紙風船一斉リリースなど、会場は大いに盛り上がりました。

